



気持ちを届ける返信マナー

6月は、結婚式に招待される方も多いのではないのでしょうか。みどりちゃんにも友人から結婚式の招待状が届きました。今回は、結婚式の招待状の返信マナーを紹介いたします。



返事はいつ出すの？

招待状が届いたら、2～3日以内、遅くとも1週間以内に返事を出します。メールや電話のみで返事をするのは避けましょう。やむを得ず欠席する場合は、まず欠席の旨を電話で伝えます。その後改めて、簡単な欠席理由とお詫びを添えた返信はがきを1週間以内に送るようにしましょう。

何で書くの？

黒色の毛筆か筆ペン、万年筆を使うのが基本です。水性ボールペンでも、黒色のみ良しとされています。丁寧に心を込めて書きましょう。

返信はがきの書き方は？

【表書き】

□	□□□	□□□□
名古屋市△△		
往復花子様		
様		
□□□□		

宛名の「行」を二重線で消し、横に「様」を宛名よりも少し大きめに書きます。

【出席の場合】

漢字一文字は斜めの二重線、二文字以上は二重線で消しましょう。名前は、「ご芳」まで消します。お祝いの言葉も忘れずに。

〆出席
〆結婚おめでとうございます
お招き頂きありがとうございます
喜んで出席させていただきます

〆住所 ○市○町○番地
〆署名 中北みどり

【欠席の場合】

〆欠席
〆結婚おめでとうございます
残念ですが当日は所用のため欠席させていただきます
お二人の未来いお幸せを心よりお祈り申し上げます

〆住所 ○市○町○番地
〆署名 中北みどり

欠席の場合は、お祝いの言葉を述べたうえで、出席できなくて残念という気持ちを伝えましょう。

返信はがきには、お二人への祝福の言葉を添えましょう♪

『和風月名』～水無月・文月～

6月は「水無月」。旧暦の6月は梅雨明け後で、水が枯れて無くなるからという説や、田んぼに水を張る「水月」が変化したためという説があります。

7月は「文月」。短冊に歌や字を書く七夕の行事の「文披月」という説と、稲穂が膨らむ月の「穂含月」から転じたとも言われています。

